

Contents

特集：ワールドカップとサミットから見た世界経済	1p
<今週の”The Economist”誌から>	
”49th parallels” 「49 番目の類似点」	7p
< From the Editor > ファンは国境を越える	8p

特集：ワールドカップとサミットから見た世界経済

南アで FIFA ワールドカップ 2010 が開催中です。日々熱戦が繰り広げられる中で、我がサムライブルーは今朝、1 次リーグ E 組を 2 勝 1 敗で突破し、見事に 16 強への名乗りを上げました。興奮しているのは、もちろん筆者だけではないでしょう。

さらに今週は、カナダで 2 つのサミットが行なわれます。25～26 日はムスコカで G8 が、26～27 日はトロントで G20 という日程です。G8 は 1975 年以来今年で 36 回目、G20 サミットは今回が 4 回目、両方を併せて実施するのは初めての試みです。

かたやスポーツ、かたや政治経済の祭典ですが、2 つのイベントから浮かび上がってくるのは、今日の世界のありのままの姿にほかなりません。「世界経済といえは、とりあえず先進国のことだけ考える」という習慣は、なるべく早く捨て去った方が良さそうです。

FIFA スポンサーに見る世界経済

いかなる偶然か、参院選投票日とワールドカップの決勝戦は同じ 7 月 11 日(日)である。その日の夜、われわれは選挙速報と決勝戦中継のどちらに熱中しているだろうか。もちろん直前の選挙情勢と決勝戦の組み合わせ次第であるが、筆者のような政治オタクでさえ、サッカーに心を奪われているかもしれない。

ところが経済を見る者としては、ワールドカップにおける商業面も気になっている。公式スポンサーが、以前に比べて様変わりしているようなのだ。そこで FIFA ワールドカップの公式スポンサーの推移を次ページにまとめてみた。

FIFA ワールドカップ公式スポンサーの歴史

2010 南アフリカ		2006 ドイツ		2002 日韓		1998 フランス	
<パートナー> アディダス(独:スポーツ) コカコーラ(米:飲料) エミレーツ航空(UAE:航空) 現代自動車(韓:自動車) ソニー(日本:電機) VISA(米:金融)		アディダス(独:スポーツ) バドワイザー(米:ビール) アバイア(米:IP電話) コカコーラ(米:飲料) コンチネンタル(独:タイヤ) ドイツテレコム(独:通信) エミレーツ航空(UAE:航空) 富士フイルム(日本:写真) ジレット(米:剃刀)		アディダス(独:スポーツ) バドワイザー(米:ビール) アバイア(米:IP電話) コカコーラ(米:飲料) 東芝(日本:電機) ジレット(米:剃刀) 日本電信電話(日本:通信) 日本ビクター(日本:電機) 富士フイルム(日本:写真) 現代自動車(韓:自動車)		アディダス(独:スポーツ) ブラウン(独:電機) コカコーラ(米:飲料) キヤノン(日本:電機) ジレット(米:剃刀) 日本ビクター(日本:電機) 富士フイルム(日本:写真) オペル(独:自動車) マスターカード(米:金融) マクドナルド(米:食品) フィリップス(蘭:電機) スニッカーズ(英:食品)	
<スポンサー> バドワイザー(米:ビール) カストロール(英:石油) コンチネンタル(独:タイヤ) マクドナルド(米:食品) MTNグループ(南ア:通信) マヒンドラ・サティヤム(印:IT) サエラ(ブラジル:食品) 英利ソーラー(中:発電)		現代自動車(韓:自動車) マスターカード(米:金融) マクドナルド(米:食品) フィリップス(蘭:電機) 東芝(日本:電機) Yahoo!(米:インターネット)		現代自動車(韓:自動車) マスターカード(米:金融) マクドナルド(米:食品) フィリップス(蘭:電機) Yahoo!(米:インターネット)			
アメリカ	4	アメリカ	7	アメリカ	7	アメリカ	4
ドイツ	2	ドイツ	3	日本	4	日本	3
日本	1	日本	2	ドイツ	1	ドイツ	3
韓国	1	オランダ	1	オランダ	1	オランダ	1
UAE	1	韓国	1	韓国	1	イギリス	1
イギリス	1	UAE	1				
インド	1						
中国	1						
ブラジル	1						
南ア	1						
合計	14		15		14		12

過去4大会のスポンサー企業の変遷を振り返ってみると、しみじみ以下のような感想が浮かんでくる。

1. JVC や富士フイルムなど、かつての常連企業が次々に撤退し、日本企業はとうとうソニー1社になってしまった。ジャパンブランドの国際的なプレゼンス低下はこんなところにも表れている。
2. 1998年には日米欧の企業がスポンサーを独占していたが、2010年には中国、インド、ブラジル、韓国、UAE、南アと半数近くが新興国企業になった。それも太陽光発電(中国)、アウトソーシング(インド)などの新しい業態を含んでいる。上の表で、シャドーをかけた部分が新興国である。
3. かつてはほぼ半数を占めていた米国企業も、14社中4社とシェアを落としている。コカコーラやマクドナルドなどはあいかわらずだが、気がつけばアバイアやYahoo!などのIT企業が姿を消している。ちなみにバドワイザーの販売元、アンハイザー・ブッシュ社は2008年にベルギー資本に買収されている。

サッカー熱は国境を越える

FIFA ワールドカップは、昔は入場料が収入の大半を占める慎ましいビジネスであった。1980年代のスポンサー料は1社30億円であったという¹。ところが放映権料が跳ね上がり、**のべ300億人がテレビ観戦するお化けイベント**になると、スポンサーシステムも様変わりする。エミレーツ航空が、2007~14年の公式パートナー契約（つまり今回の南ア大会と次回のブラジル大会分）を結んだ時の協賛金は1億9500万ドル（175億円）だったという。

ワールドカップはわずか1か月のイベントだ。それでもグローバル企業にとっては、全世界のサッカーファンにアクセスできるという魅力がある。企業にとってブランドとは、高い利益率をもたらす「見えない資産」であると同時に、巨額の固定費を意味する。**ブランドを新たに育てたいという企業が、それだけ新興国で増えている**のだろう。

FIFAの公式サイトは、登録さえすれば誰でも試合に対するコメントを書き込むことができるようになっていた。これを見ていると、世界各国のサッカーファンがいかに多様であるかがよく分かる。例えば日本対デンマーク戦のコメント欄（試合前）を見ると、以下のような熱いメッセージで埋められている²。どう考えても、サッカーとは無縁そうな国のファンも少なくない。文字通り全世界数十億人のサッカーファンが注視しているのだ。

- ・ いつもデンマークを応援しているよ。でも日本は簡単な相手じゃない。(スウェーデン)
- ・ とともにアジアのプライドを果たそう。日本ガンバレ！（韓国）
- ・ 祈ろう。3 - 0で日本だ。(モンゴル)
- ・ デンマークだろう。日本はディフェンス過ぎる。日本が守りに走って、ゲームの流れで1点失うと見た。(フィジー)
- ・ デンマークは日本に勝てないだろう。日本の守りは堅い。オランダでさえ苦戦した。みんな賛成してくれると思うけど、オランダの方がデンマークより力は大よね。(オランダ)
- ・ デンマークが2ゴールで勝つよ。ゴメンネ、日本。(デンマーク)
- ・ 最終戦はどこもすごい。アメリカ対アルジェリア戦みたいになれば面白い。(アメリカ)

発言者の国籍を見ていると、「グローバル経済 = 先進国」という図式が小気味よく砕けていくような気がする。サッカーはもともと欧州のスポーツであり、それが南米やアフリカでも支持を拡大していった。昨今はアジアでも膨大なファンを獲得しつつある。おそらくFIFAにとっては、中国とインドまで浸透させることが最終目標だろう。衛星放送やインターネットの発達により、「サッカー熱」は地球上の隅々まで広がりつつある。

考えてみれば、**サッカーほどグローバル化が成功しているスポーツは他に例を見ない**。選手や監督は完全にボーダーレスであり、才能さえあれば高給、好条件で迎えられる。その頂点である欧州の有力チームは、全世界から選手を集めている。どんな貧しい国の子どもでも、サッカー選手として成功すれば富と名声をゲットできる。

¹ 『ワールドカップの話しよう』（大住良之 / NECメディアプロダクツ）

² <http://www.fifa.com/worldcup/matches/round=249722/match=300061474/comments.html>

もうひとつワールドカップの魅力を挙げるなら、それぞれが「国家」を背負いつつも、「政府」からは自由であることを指摘できよう。オリンピックとは違い、サッカーでは大国や先進国が強いとは限らない。

この世界における超大国はブラジルやアルゼンチンである。アメリカは中程度のパワーに過ぎず、最終戦の時間切れ間際にようやく 1 次リーグ突破を決めた。EU は名門国がひしめいているものの、フランスとイタリアは予選突破ができず、イングランドとドイツも苦戦した。代わりにガーナやスロバキアがトーナメントに進んでいる。そして北京五輪でメダルを量産した中国は、今回は出場さえできなかった。

サッカーが強いかどうかは、政治力や経済力とはあまり関係がない。仮にどこかの独裁国家が「サッカーで国威高揚」を目指したとしても、計画的に強いチームを作ることはできないだろう。「既存の国際秩序とはまったく無縁である」ということも、サッカー人気をグローバルにしている隠れた魅力であるに違いない。

G8 と G20 をどう仕切るのか

さて、今週のもうひとつの注目イベントは、カナダで行なわれる G8 と G20 の 2 つのサミットである。G8 サミットは 1975 年以来の歴史があり、今年は 36 回目。G20 サミットはあの「リーマンショック」の直後に行われた 2008 年 11 月 15 日が第 1 回で、今回はまだ 4 回目。双方を同時に開催するのは初めての試みである。

各種情報を総合すると、以下のような日程になるらしい。

G8 (6/25-26) at ムスコカ

メンバー国：「加、仏、米、英、口、独、日、伊」= 8 カ国

25 日 (金) 正午、G8 首脳が集合

翌日午後まで、開発問題や金融を討議

夕食会で安全保障問題を討議

アフリカ諸国との対話も

G20 (6/26-27) at トロント

メンバー国：G8 + 「韓、アルゼンチン、豪、伯、中、印、インドネシア、墨、サウジ、南ア、トルコ」+ EU = 19 カ国 + 1 地域

26 日 (土) 夕刻、G8 首脳が晚餐会に移動

27 日 (日)、G20 首脳が経済金融問題を討議

今回はスペイン、オランダ、マラウイ、エチオピア、ベトナムが参加。

国連、IMF、世銀首脳も招聘

世界の首脳を「一軍と二軍」に分けているような気まずさは残るが、それぞれに花を持たせようという議長国カナダの苦心の跡が窺える。そもそも **G8 と G20 は、どちらも国際法上の根拠のない会議であるから、その気になればかなり融通が効く**。現在の G8 自体も、途中でロシアを加盟させる、「アウトリーチ 5 カ国」(中、印、伯、墨、南ア)を招請するなどして、時代に合わせて徐々に変化を遂げてきた。その意味では、「G20 は G8 の発展形」と見なすことも可能であろう。

そもそも、なぜ G20 サミットが軌道に乗ったのか。世界各国の GDP を比較してみると、**G8 のシェアはもはや半分程度でしかない**。購買力平価方式で行くと、日米欧を全部足しても半分に満たない。かつては「旦那衆」として世界経済をリードしていた G8 も、これまで通りすべてを背負い込むことはできない。リーマンショック以降の国際金融危機に際しては、中国などの新興国を巻き込むことがどうしても必要だった。

GDP の各国比較 (2008 年/IMF)

Bil.USD	為替レート	%	購買力平価	%
全世界	60,689.8	100.0	68,996.9	100.0
G7	32,220.6	53.1	32,296.5	46.8
G8	33,897.1	55.9	34,557.4	50.1
G20	45,850.0	75.5	54,911.4	79.6
米国	14,264.6	23.5	14,264.6	20.7
EU	18,394.1	30.3	15,247.2	22.1
日本	4,923.8	8.1	4,354.4	6.3

アジアで唯一、G8 メンバーであることを誇りとしてきた日本としては、**G8 の値打ちが下がることはそのまま日本外交のプレゼンス低下につながる**。G8 が歴史と伝統がある「会員制倶楽部」であるとしたら、出来たばかりの G20 は「立食パーティー」のようなもの。できれば G8 を大切に残したい、と考えるのは無理からぬところである。

逆に、**G20 時代の到来を歓迎している代表格は韓国**であろう。韓国は今秋、第 5 回の G20 サミットを誘致して、初の議長国に名乗りを上げた。11 月 13~14 日が横浜で APEC 首脳会議なので、その後であれば無理のない日程になるところ、敢えて直前の 11 月 11~12 日にセットしてきた。これではすっかり APEC が霞んでしまうが、先方は長年のうっ憤を晴らしたいのかもしれない。G8 時代の韓国は「お呼びがかからない」存在だったのだ。

日本と同じく「G8 メンバー国」であることに価値を見出しているのが、ほかならぬカナダである。だからこそ、G8 と G20 の融合を目指して工夫をこらすのであろう。だが、来年以降が問題で、2011 年はフランス、2012 年はアメリカ、2013 年はイギリスと「G8 軽視」の議長国が続く。これらの国は揃って常任理事国であり、外交機会にはさほど事欠かない。G8 は「数ある首脳会談のひとつ」に過ぎず、ありがたみを感じる機会が少ない。**向こう 3 年の間に、G8 は G20 と一本化されてしまうかもしれない**。

元気な新興国、沈滞気味の先進国

その G20 サミットのちょうど 1 週間前に、中国が人民元相場の改革を発表してきた。5 月に行われた米中戦略経済対話などでも、散々要求されてきた懸案事項だが、「わが国はアメリカの言いなりにはならないが、世界全体の要求には耳を傾ける」と言っているようで、この辺の間合いはいつも通り巧妙である。週明け 21 日には早速、人民元は対ドルで最高値の 1 ドル 6.7 元台を付けている。

とはいえ、米議会は人民元が 25~40% 程度過小評価されていると見なしており、今回の「弾力化」という措置くらいでは満足しないだろう。市場でも、「年末までに 3~5% 程度の切り上げ」という観測がもっぱらであるから、この差は大きい。米中間の火種はくすぶり続けるし、米財務省は「為替報告書」提出のタイミングに悩みそうである。

このように G8 と G20 をめぐっては、「元気のいい新興国と、沈滞気味の先進国」という図式が浮かび上がる。それでは本当にこのまま、「G8 時代から G20 の時代」というパラダイム転換が進むのだろうか。

足元の財政問題、そしてユーロ危機の深刻さを考えると、G8 の半分を占める欧州経済の悩みは深そうだ。極論すると、G8 の時代とともに「欧州が世界の中心であった時代」が終わるのかもしれない。そうだとすると、大航海時代以来、実に 5~6 世紀ぶりに世界経済の中心が動くわけで、まことに壮大な歴史の分水嶺となるだろう。OECD から FIFA に至るまで、世の中のルールを決める機関の多くは欧州人が中心に作ってきた。その代わりにどうやって埋めるのか。興味深いテーマではないだろうか。

逆に、「G20 時代は意外と難しい」という見方もできる。なんとなれば、8 人でならできる話も 20 人となると難しい。各国首脳が一人当たり 10 分話すだけで、3 時間 20 分もかかってしまう。首脳を手助けする外交官のサポート体制も、各国によってバラつきが大きいので、G8 のような緻密な連携は望むべくもないだろう。

そしてまた、先進国と新興国が抱えている問題は大きくかけ離れている。端的に言えば、先進国はデフレを恐れ、新興国はインフレを恐れている。これでどうやって意見を統一し、行動を一致させることができるのか。そして一方、貿易自由化、地球環境問題、資源価格の抑制など、世界全体が強調しなければならない問題はあまりに多い。

国際金融危機が収束に向かうにつれて、G20 の開催意欲は失われて不活発な会議となっ
てしまい、一方で G8 はしぶとく生き残る、という未来もあり得るだろう。新興国経済は
今後、かならずしも順調ではないかもしれないし、その場合はやはり西側先進国の団結が
必要になってくる。その中でも日本のポジションは重要と言える。

いずれにせよ、「世界経済といえば先進国（もしくは日米欧）」と考えていれば良かった時代は遠い昔のこととなったようだ。ワールドカップと G8 / G20 サミットという 2 つのイベントは、そのことを教えてくれているように思える。

< 今週の”The Economist”誌から >

”49th parallels”

「49 番目の共通点」

The Americas

June 19th 2010

*** サミットの舞台となるカナダ政府は今どうなっているのか。保守党政権のハーパー首相はオバマ大統領の正反対をやっているようです。**

< 要約 >

巨大な隣国を持つ国は、しばしば同質性を無視して違いを強調する傾向がある。米国の「親切で優しい」隣国たるカナダは、これを長らく上手に実践してきた。しかし 2006 年以來の保守党ハーパー首相の下で、米加両国は一致しつつある。オバマは国民医療保険や金融規制強化などカナダ的な政策を導入し、ハーパーは米国共和党の特色を輸入している。

カナダは今月下旬に G8 と G20 を主宰するが、前回 2002 年に G8 を開催したときとは大違い。当時は同性愛結婚とマリワナ差別、移民増加策が課題だった。今では減税と犯罪と偽難民対策である。20 年前に落着いたはずの妊娠中絶問題も蒸し返されている。

ひとつには国際金融危機のせいだ。と同時にハーパーは、カナダは政府ほどには左巻きではなく、リベラル派の長期統治は保守派分裂のせいだったと主張する。そして 2 つあった中道右派政党を吸収し、議会で過半数はないものの、2 つの選挙を勝ち抜いてきた。

ブッシュと同様に、ハーパーはかつて石油会社で働いていた福音派である。米国の後追い政策が多く、二人とも「減税して政府を縮小する」と宣言し、前者だけを実施した。ハーパーは消費税と同様に法人税と所得税を削減した。なおかつ支出は拡大したので、カナダとしては大きな GDP 比 3% の財政赤字を作ってしまった。

外交もブッシュを彷彿とさせる。イスラエル右派を重視し、中絶を認める対外援助支出に反対する。野党時代はイラク戦争への参加を主張した。与党になって軍事支出を 27% 増加させ、アフガンへ増派した。2011 年には撤退予定だが、それは議会の議決によるものだ。

犯罪への強硬姿勢もハーパーの優先課題だ。囚人の年金受給を止める法案を導入し、裁判官による刑期短縮を制限した。犯罪件数は落ちているが、強硬姿勢が多数を占める。

ブッシュは移民拡大を目指したが、ハーパーはより保守派らしく、NAFTA 加盟国のメキシコに対し、亡命者にビザの取得を求めた。政府は違法、合法を問わず、カナダ入国を困難にしようとしており、世論調査もそれを支持している。

右傾化傾向はハーパー政権以後も続きそうだ。高齢化する団塊世代は、福祉よりも犯罪対策を重視する。オバマの追い風になったような反市場主義はこの国には存在しない。ハーパーの経済政策は評価されており、中道左派政党は自滅している。

カナダ研究者によれば、この国では左右ともに同じ価値観を共有している。米国南部の保守派は米国を右へ、ケベック州の社民勢力はカナダを左へと牽引する。が、カナダの保守革命の基盤は薄い。保守党の支持はわずか 31% で、議会での単独過半数は望み薄である。首相は巧みに情勢を活用するが、一時代を画せると考えるのは時期尚早のようだ。

< From the Editor > ファンは国境を越える

今朝のデンマーク戦勝利の余韻が残っています。でも、気の利いたことは書けそうになるので、FIFA のコメント欄から日本チームに寄せられた全世界のファンの声をご紹介しますおきましょう。読んでいて飽きないものがあります。

24/06/2010 at 22:40 **M.Nurdin (Indonesia)**

Japan players really showed their samurai spirit in this game. They play simple but very effective passing. And Honda is really great.

24/06/2010 at 22:40 **wmlee73 (Korea Republic)**

I was impressed by the ability for Japan to manage the game against one of the viking football descendents. When Samurai won Danes by 2:1 and the final whistle had about 15 minutes to go, they could perform a defense-centered tactics. They, however, hired an attacker at that time in order for Danes not to invade Samurai's area easily. It came into effect and Samurai scored the final decider from Honda's pass. Dane's ability to control the game is a kind of clumsy, I think.

24/06/2010 at 22:39 **HelloWorld09 (Japan)**

Danish had physical advantage. They were so string. I'm very glad to take part in the tournament. We have to do our best for the teams in Group E. All of you, thank you for words of encouragement ;)

24/06/2010 at 22:38 **rashflash (England)**

Well done Japan! Asia loves you! From the middle east to the far east!!

24/06/2010 at 22:35 **ROBERTOHOSHI (Japan)**

Japan used to go final U23 WorldCup. Spain defeted Japan at that time. This Japan team could go final and beat Spain and get the World Cup. We believe!

24/06/2010 at 22:34 **TBS-DK (Denmark)**

Congrats to Japan! Very smart tactic, that obviously surprised us. 2 perfect shots, that shouldn't have been a problem for Thomas. Sadly the referee was occupied elsewhere, on 2 times "hands"... But thats the "charm" of the game, we were not sharp enough today! My deepest respect to the Japanese players, and people.

24/06/2010 at 22:31 **minero_lazo (USA)**

Who would ever think the two Asian teams are being to advance! I am so proud of you guys! The Danish needs more sportmanship than this..

24/06/2010 at 22:30 **dieselblue (Japan)**

I have to admit that 2 weeks ago, I thought Japan would be boarding the plane back to Japan after this game. But well done, and all the best for the 2nd stage!!!

24/06/2010 at 22:28 **Brycster (USA)**

japan was great!! and it was a good game

24/06/2010 at 22:28 **1stDivision (USA)**

Well Done for Japan. Proved every critic wrong. Could win next match

24/06/2010 at 22:28 **dechardonay (Australia)**
Beaut stuff, Japan. Sounds like Endo had a great game. Best of luck in the 16, Paraguay are beatable.

24/06/2010 at 22:27 **riri0202 (Canada)**
Congratulations Nippon!!

24/06/2010 at 22:27 **Inaba-Tak (Canada)**
Japan was powered by Honda once again!! lol Honda

24/06/2010 at 22:18 **Skurken (Denmark)**
Congrats Japan. Best team won. They were faster, more confident & better in almost every aspect. Im looking forward to see if the Japanese is a very good team or if it was just the lack of quality from our danish team. But we will see in the 1/16 finals-Good luck-Anything can happen now :)

24/06/2010 at 22:17 **Mel577 (USA)**
Congrats to the Japanese team, they've done great. I, just like every body else, wasn't expecting this either. I see progress. Reply to this comment

24/06/2010 at 22:17 **Plaidhammer (USA)**
Good to see Japan can still attack with conviction when it wants to. God forbid Japan becoming the Greece of Asia (no offence to any Greek fans). Anyhow, I'm looking forward to the Asia vs. South America clash in the round of 16.

24/06/2010 at 22:17 **koy-koj (Australia)**
Japan is definitely different in this World Cup, in a very very positive way. Bit of loss of concentration from 65min for a while, but then great display of skill by Honda to set up the 3rd goal. Well done!!!

24/06/2010 at 22:14 **redcrest (USA)**
Great game by Japan~! I like that they kept up the fire and attacking spirit even after their comfortable 2-0 lead in the first half. Well deserved victory--I hope they'll keep that spirit coming in the top 16!

24/06/2010 at 22:13 **Hammerfan81 (England)**
Japan were worthy winners tonight. Denmark were shaky at the back in the first two games and couldnt sort it out for this one. First group stage exit and the end of the road for a few of their top players. Japans next match should be a good one v Paraguay.

24/06/2010 at 22:13 **anniino (Japan)**
Our team was won!! and, I think that the play style of Japan in the future cam into view.

24/06/2010 at 22:12 **nadimelhelw (Egypt)**
Japan has been very impressive in all its games, even in the one it lost against the Netherlands. They can make it far.

ありがたいことに「サムライブルー」は、日本以外の多くの国からも声援と評価を得ていました。サッカーにおいては、ファンもまた容易に国境を越えることができるのですね。

来週からはトーナメントが始まります。日本はどこまで行けるのか、そして最後に制するのはどの国か。まだまだ寝不足の日々が続きます。

* 次号は 2010 年 7 月 9 日（金）にお届けします。

編集者敬白

本レポートの内容は担当者個人の見解に基づいており、双日株式会社および株式会社双日総合研究所の見解を示すものではありません。ご要望、問合わせ等は下記あてにお願いします。

〒107-8655 東京都港区赤坂6-1-20 <http://www.sojitz-socket.com/>

双日総合研究所 吉崎達彦 TEL: (03)5520-2195 FAX: (03)5520-4945

E-MAIL: yoshizaki.tatsuhiko@sea.sojitz.com